

# 展示・イベント

いずれも休館日は月曜日  
(祝日の場合は翌平日)です。

※県立近代美術館は4月26日まで工事及び展示準備のため休館します。  
※県立近代美術館・県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

## 収藏品情報ポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」をご活用ください!!

県立博物館施設3館(近代美術館、博物館、紀伊風土記の丘)の収藏品をインターネット上で広く公開し、誰もが気軽にアクセスできる場としてポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」を開設しました。

本県が誇る芸術作品や歴史資料など約16,000件の情報が閲覧可能で、歴史や美術といった分野の垣根を越えた横断検索機能はもちろん、様々な作品・資料と出会うための仕掛けが盛沢山です。高精細画像コンテンツでは、収藏品の細かな部分まで拡大して鑑

賞することができるので、展示室で実物を見るときとは違った魅力の発見があるかも!?

また、学校や個人で参加できる博物館施設を活用した教育プログラムの紹介や県内のミュージアム情報なども掲載しています。

ぜひ本サイトをご活用いただき、まだ見ぬ収藏品との「出会い」をお楽しみください!気になる収藏品があったら、美術館・博物館等に来て、展示室で実物も見てね!!



▶ <https://wakayama.museum/>

### 県立博物館

和歌山市吹上1-4-14  
☎073-436-8670

#### 企画展

### 新収藏品展

開催期間 2月23日(金・祝)~4月14日(日)

和歌山県立博物館では、購入または寄贈によって館蔵品の収集を積極的に行っています。今回の企画展では、当館が平成29年(2017)度以降に収集した熊野三山や高野山、紀伊徳川家にかかわる資料、文人画、陶磁器など、和歌山の歴史を語る「新収藏品」をお披露目します。



奈良絵本 西行(和歌山県立博物館蔵)

### 県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411  
☎073-471-6123

#### 春期企画展

### 黒江・商家のくらしと漆器

開催期間 3月16日(土)~6月16日(日)

江戸時代から漆器の町として知られる海南市黒江。古くから日用品の漆器づくりを通して江戸や九州との商いが盛んに行われた技術が、今も受け継がれています。今回の企画展では、黒江の町で行われる漆器づくりの道具と製品、商家で使われていた近世から昭和期にかけての生活用具を展示して、黒江の仕事とくらしの変遷を紹介します。



木貝膳・八十椀(製品・梱包)  
(和歌山県立紀伊風土記の丘蔵)



金柑絵銘々盆  
(和歌山県立紀伊風土記の丘蔵)

### 県立自然博物館

#### イベント情報

### きのくに野外博物館

### 巨大アンモナイトをさがせ!!

白亜紀の海でできた地層の石を割って、アンモナイトなどの化石を発掘します。巨大なアンモナイトが見つかる!かも?

日時 3月24日(日) 13:00~16:00

場所 湯浅町栖原

対象 小学生以上、小学生は保護者同伴

定員 20名

申し込み締切り 3月3日(日)

申し込み方法 往復はがきに行事名、参加希望者全員の住所、氏名、年齢、学年、電話番号を記入の上、自然博物館まで。



海南市船尾370-1  
☎073-483-1777



## 新属新種の大発見!

# ワカヤマ ソウリュウ

平成18年に有田川町で発見された  
モササウルス類の化石が、  
新属新種として記載されました。

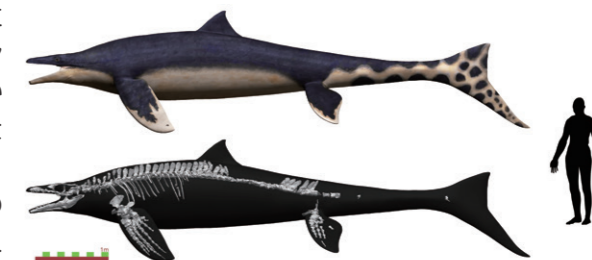
ワカヤマソウリュウの化石

## 和歌山に ちなんだ名前

新たについた学名はメガプテリギウス・ワカヤマエンシス。属名のメガプテリギウスは大きな翼という意味のギリシア語、種名のワカヤマエンシスは発見地である和歌山県にちなんでいます。また、より親しみを持っていただくために、通称を「ワカヤマソウリュウ(和歌山滄竜)」と付けました。名前に和歌山と入っている化石はこれが初めてです。

## 新発見が続々!

全体の8割もの部位が保存されたワカヤマソウリュウの化石からは、たくさんの方がわかってきました。大きな特徴は前後のヒレがとても大きいことです。頭の骨の長さよりも前後のヒレが大きいのは、モササウルスの仲間では初めて見つかった特徴です。また、肩関節の形から、前のヒレはかなり自由に動いていたことがわかり、大きなヒレを使ってペンギンやウミガメのように泳いでいたことが想像されます。他にも背骨の形から背びれがあった可能性が高いこと(世界初)、前向き両目を使って獲物を見ていたこと(世界で2例目)など、新発見がたくさんありました。



復元図(上)と産出部位(下) 作成 ©Takumi

## 自然博物館での展示は?

現在、実物の化石は自然博物館の収蔵庫にあり、展示されていませんが、常設展示には産状レプリカと、「和歌山の石」のコーナーには実物の歯化石がありますのでご覧ください。今後は特別展などでも実物化石を展示、公開できるよう検討していますのでしばらくお待ちください!